

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

小倉織×SDGs

令和2年10月8日



KOKURA SHIMA SHIMA
株式会社 小倉縞縞



小倉織物製造株式会社
Kokura Textile Inc.

SDGs × 小倉織

わたしたちの想い

「日本発・北九州発のSDGs」を発信したい！

国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)。

アジア地域初の「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」や日本の「SDGs未来都市」に選ばれるなど、北九州市ではSDGs活動が活発に行われています。

「誰一人取り残さない」SDGsは、誰にとっても自分事の取り組みであり、まちづくりにおいても、企業にとっても、未来を紡いでいくために必要不可欠かつ大事なことです。

徳川家康が鷹狩りの羽織として愛用したことで知られ、明治時代は学生服生地として人気を博した小倉織は、丈夫で、使い込むとなめし革のような滑らかさが生まれ、長く使い続けられる織物です。400年続いた歴史と伝統技術を有する小倉織は、それ自体がSDGs17ゴールの「12：つくる責任つかう責任：持続可能な方法で生産し、消費する取り組みを進めていこう」に合致する織物であると、私たちは考えています。

あわせて、「世界に通じるテキスタイルの創出」を目指している私どもは、このまちの伝統技術を受け継ぐ身として、「わがまち北九州発」ということに強い想いを持っています。

SDGs展開においても、自社としての展開にとどまらず、小倉織の特徴を生かして、「北九州発のSDGsを世に発信する」ことに挑戦したい、そのことを通じて、九州、そして日本全体でのSDGsを今まで以上に盛り上げるお役に立ちたいと強く思っています。

しかし、そのような取り組みは、私どもだけでできるものではありません。

地元企業や団体とタッグを組み、行政にもお力添えいただいて、**共にSDGs展開やその発信を行っていききたいと心より願っております。**

地球と、全ての生命の未来のために、SDGsを共に推進していけますと幸いです。

小倉織（縞）を生かしたSDGs展開



SDGsの象徴である17の目標を「縞縞」で表現した生地を開発！

柄は「太縞」と「細縞」の2パターン



太
縞

- *柄名 『SDGs ストロング』
- *英語名 : SDGs Strong
- *イメージワード：強く心に留めよう、SDGs



細
縞

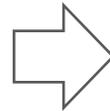
- *柄名 『SDGs ライト』
- *英語名 : SDGs Light
- *イメージワード：軽やかに望もう、SDGs

17の目標を示す色を用いて縞縞を創り、同時に世界の多様性をも表現しています。タテ糸は木綿、ヨコ糸は回収衣料を原料にした再生ポリエステル「**BRING**」を用いて伝統と革新の技術を融合。未来につながる「サステイナブル」とは何か、SDGsを体現した生地です。

展開スケジュール概要

2020年9月25日
SDGs 制定日
リリース発表
SDGs 生地
法人受付開始

通常の生地とは異なり、
「SDGs」コンセプトを
基に商品開発、各団体との
連携を企画していく。



2020年10月28日～11月3日
「小倉織協同組合 合同展示会」
会場：小倉井筒屋新館 1階
※築城則子監修によるSDGs 生地
柱インсталレーションが登場！

上記開催にあわせて
「小倉縞縞」SDGsシリーズ商品
一般販売開始（風呂敷、エコバッグ）





「九州発・日本発のSDGs」を発信したい！
ぜひお力添えください。よろしくお願い申し上げます。